

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

スズキハイテック株式会社

山形市にあるスズキハイテック株式会社の若手社員、ペトルス・ヤサヤ・サモリさん
取材しました！ペトルスさんは、インドネシア出身で山形大学大学院理工学研究科
博士課程を修了後、2018年に入社しました。

現在は、事業開発部事業開発課で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。

現在の仕事は、3Dフォトリソグラフィ技術を用いた、3次元形状MEMS精密電鍍の研究開発です。従来の加工方法では実現不可能な3次元自由形状をサブミクロンレベルの精密微細加工を可能にし、バイオミメティクスを実現する超精密金型スタンプの実用化を目指しています。

生物多様性に学ぶ「バイオミメティクス」は生物の生き残り戦略にヒントを得て人類の未来を築くこと、即ち持続可能性に向けたパラダイム変換と技術革新をもたらすものと期待されています。

例えば、カタツムリの殻は特徴的な構造をしており、常に表面には薄い水分の膜を形成し、油汚れが落ちやすい機能性を持っています。私たちは、生物表面の多機能性や高機能性を再現する階層的な3次元自由形状加工技術の研究開発を行っています。



——仕事のやりがいはどこなところですか。

もともと研究も好きだったので、開発という仕事に参加していても非常に楽しいですね。新しい発見があるほど嬉しいですし、今は本当に早く結果を出したいと思っています。バイオミメティクスの実用化を通して、今までないものを作り出し、人々のよりよい生活をサポートできると考えるとそれがやりがいになります。



——入社してからはどんな仕事をしていたのですか。



入社した段階から、今のテーマをすぐやっているわけではなくて、まず1年間は様々なことを経験させてもらいました。私は、化学という大きなフィールドは専門なのですが、「めっき」となるとまた違う知識が必要になるわけです。それでめっきを自分でやってみたりしました。

あとは、当社の取引先がフランスの会社と取引することになったときに、全部英語になるので、私が担当することになりました。営業、見積もり、そしてサンプルを作るという感じでやっていて、これは今も担当しています。

(2) 職場編

——スズキハイテックに就職を決めた理由は何ですか。

大学院を修了してからも山形県に残りたいという気持ちがありました。実は大学教員になりたかったのですが、なかなか大学の先生になるのは難しい。けれど、どうしても山形県に残りたいなど、特にインドネシアと山形県のあいだにこれまでできている関係があるので、その関係を保ちたい。そのために架け橋として何かできないかな、私が山形県に残ってその活動をできないかなと思って、いろいろ悩んでいたんです。

そういうときに大学の先生から鈴木社長のことを聞いて、実際に会って話してみたら、スズキハイテックで働くと山形県のためになるんじゃないかなと思いました。なぜかと言うと、山形県を元気にしたいこと、もともと留学生を採用しているという社長の考えがありました。そして、外国人とか日本人という区別をしないで同じ扱いをしていることを聞きました。



私も山形県のために、特に山形県とパプア州のために何かしたいという話をしたら、一緒に何かできないかって考えてくださって、それでスズキハイテックに決めました。

——この会社に入社してよかったと感じるのは、どんなときですか。

日本人と外国人という区別がないところ
です。普通にみんなと楽しく過ごせるって
いうのいいかなと思っています。あと、社長
が広い考えを持つ方で、外国人の私たちの
ことをいつも考えてくださっているので、それ
が非常に良かったところです。



——外国人の方が多いんですか。

正社員としてもいますし、技能実習生もいます。今はインドネシアから来ている実習生が
4人いて、実習生向けに日本語教室もやっているのので、私は「先生」と呼ばれています(笑)。

私は米沢から通っているのですが、会社近くの社宅に実習生は住んでいるので、そこに週
末は泊まってプレイステーションを一緒にやることもあります。

——社員同士での仲が良い感じなんですね。



そうですね。社内のイベントは結構
あります。特に実習生は車の免許もな
くて移動手段が限られているので、ど
こかで楽しみがないといけないと思
います。社長が音頭をとるんですが、
私たちともいろいろ相談して、庄内の
海に行ったり。

あと、特に同じ年代の方々であれば、
みんなで飲み会をしたり。私は飲めな
いので、だいたい私が帰りの運転をし
て(笑)。運転しながら、いろんな話を
します。

(3) ある日の過ごし方編

●9:30【出社】

出社後はすぐにメールを確認します。その後、課長と打ち合わせをして、今日のタスクを整理します。



●10:00【開発業務開始】

打ち合わせで決めた実験条件を確認しながら、実験を進めます。

●12:00【お昼休憩】

社員食堂で食べます。この日のメニューは、ほっともっとの唐揚げ弁当でした。

「昼はいろいろな弁当屋さんからチョイスできるようになっていて、その中の一つにほっともっどがあります。朝に注文すればお昼に持って来てくれて、半額は会社が負担してくれます。」



●13:00【開発の業務再開】

●17:15【業務改善】

現在の進捗状況をチームに報告します。改善点について打ち合わせをします。



●18:30【退勤】

退勤後、夕食をとります。チェーン店での外食が多いです。

(4) むらやまでの暮らし編

——インドネシアのどちらのご出身なんですか。

インドネシアのパプア州というところですよ。一番東にある島です。地図で見るとニューギニア島は半分がパプアニューギニアという国で、もう片方の半分がインドネシアのパプア州になっています。

——日本に来たきっかけはなんですか。

小さいころからアニメとか、仮面ライダーが好きで、日本に行ってみたいなと思ったのがきっかけでした。もともと山形県とパプア州が姉妹県という関係があって、山形県から来た人がパプア州の高校生に日本語や日本の文化を教えたりということが行われていました。私も2回ぐらい参加する機会があって、日本の特に山形県に行ってみたいなという印象がありました。それで、たまたま高校生の頃にパプア州から奨学金があって、日本に行けるチャンスがあって、それに応募してみたら合格して、日本に行くことに決めました。

——山形で暮らしていて良かったことはありますか。

人が温かいことですね。自分の第二の故郷と感じるぐらい本当に人が温かいです。家族みたいな。それが一番良かったかなと思います。

あとは景色が綺麗ですね。運転の時は楽しいですね。米沢から山形に来るときに、特に秋は空も綺麗だし、霧がかかったりするんですけど、それもいいなーって思いますね。あと冬も雪綺麗ですし、いいところですね。



——お仕事が終わった後や休日は、何をして過ごしているんですか。

平日は外食をして、帰宅してから運動するようしています。部屋の中でできるランニングマシンとか。好きなお店は松屋です。よく頼むのはハンバーグですが、新しいメニューがでたら必ず頼みますね。食べたことのないものは気になるので。

日曜日はいつも教会に行っていて、奉仕の活動やボランティアをしています。

——山形で暮らしてお気に入りの場所がありますか。

そうですね、住んでいる米沢だとたくさんありますね。さっき言った教会もそうですし、春になると上杉神社のまわりに桜が咲くので、そこで散歩するのをいつもやっていますね。

あと温泉。「平安の湯」と小野川温泉がお気に入りです、頻繁に行きます。

それにラーメン屋。結構ラーメン屋がいっぱいあるので行きますね。食べ歩きます。

——おすすめのラーメン店がありますか。

高畠町にあるお店ですが、雷ラーメンですね。ここは辛いんですけども、美味しくて。20辛まであって、4辛以上食べる人は少ないんですが、私は20辛です(笑)。でもやっぱり美味しいですね。



(5) まとめ編

——今後、お仕事を続けていくうえで目標はありますか。

可能であれば、将来的にはやっぱり先生になりたいと思っています。なぜかと言うと、パプア州から留学生として山形大学に来て、山形で学んで帰ってパプア州のために何かしたい、山形に残るとしても山形県のためにもパプア州のためにもなるような活動がしたいなと思っています。かなり将来のことになるかもしれませんが、先生になりたいです。



——母国ではなく日本での就職活動で苦勞なさったと思いますが、今後就職活動を行う方に向けてメッセージをお願いします。

個人的に意識していたのは、ありのままを出すということです。猫を被るといふか、実際そうじゃなくてもそう見せることはよくあると思います。ですが、会社のほうはありのままの、その人の内面を見たいと思うので、ベストなのは自分を作るんじゃなくて、自分がどういふ人だていふのをちゃんとアピールすることだと思っています。

——ペトルスさんは日本に来て13年になるということですが、日本語を勉強する際のアドバイスはありませんか。

これは技能実習生の方々にも言ってるんですが、ドラマを見ることです。ドラマを分からなくてもとにかく見るんです。なぜドラマかと言うと、ドラマって生活の場面があるんですよ。だいたいそこで話す言葉っていふのは日常会話なので、固くない、普段よく使う表現がたくさんあるんですね。それは学校でも勉強ができないので、やっぱりドラマでしか勉強できない。そして見ながら、聞くので、情報が目から入って、耳からも入るので、覚えやすい。いつも彼らに言っているのは、ドラマを見て分からなくてもとにかく聞き流すことです。見終わったとしても、またもう一回初めから見。そうするとだんだん分かる範囲が広がっていくので、勉強の励ましになります。

———ありがとうございました！



ペトルスさんの真面目な人柄と、鈴木社長の明るい人柄が凄く伝わるインタビューでした！社員間の交流も多くあり、雰囲気の良い会社だと感じました！

【インタビュアー：

山形大学人文社会科学部 長沼莉保・草木啓汰、
大学院社会文化システム研究科 杜東超】

スズキハイテック株式会社

【会社の変革の時期に新規事業を切り開く突破口となってくれたのは外国人材！】

地元大学等の留学生を積極的に採用し活躍をサポートしたことで、100年を超える受託型の組織から、開発主導型の組織へと転換。また多様性を受け入れ楽しみ成長できる社風に変化。

★地域未来牽引企業、はばたく中小企業・小規模事業者 300社

- ・所在地 山形市銅町二丁目2番30号
- ・設立 大正3年11月
- ・従業員数 123名（男性81名、女性42名）
- ・URL <http://www.sht-net.co.jp/>

